

## 気候情報

### 2019年2月の日本の天候

- 気温は、全国的に高く、沖縄・奄美では記録的な高温となった
- 北・東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側では記録的な少雪となった
- 降水量は、北日本と東日本日本海側で少なく、九州南部と沖縄・奄美で多かった

#### 2月の天気概況

北日本では、8日9時に札幌付近の上空約1500mの気温が1957年の統計開始以降最も低い $-24.4^{\circ}\text{C}$ となるなど、上旬は非常に強い寒気が流れ込んで気温が平年を大幅に下回った。東・西日本では、北からの寒気の影響は弱く、日本海側の月降雪量はかなり少なかった。特に、西日本日本海側の月降雪量は平年比1%となり、2月として最も少なかった（統計開始は1961年）。沖縄・奄美でも北からの寒気の影響は弱く、月平均気温の平年差が $+2.7^{\circ}\text{C}$ とかなり高く、2月として最も高かった（統計開始は1946年）。

**上旬：**北日本では、寒気や低気圧の影響を受けやすく、特に北海道地方では9日の日最低気温が4地点（アメダス）で $-30^{\circ}\text{C}$ を下回るなど、厳しい寒さとなった。また、9日に本州南岸を低気圧が通過したときには、日本海側に加えて東日本太平洋側でも各地で雪となった。

旬平均気温は、北日本で低かった。一方、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高かった。

旬降水量は、北・西日本と沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本と東日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。

**中旬：**東・西日本では、冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や湿った空気の影響で旬間日照時間が少なかった。沖縄・奄美では、寒気の影響は弱かったものの、前線や南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で曇りや雨の日が多く、旬降水量が多かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。一方、北・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本でかなり少なく、東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。東日本日本海側と西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本で少なかった。一方、北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

**下旬：**大陸から北日本へ高気圧が張り出しやすかったため、北日本と東・西日本日本海側では旬間日照時間が多く、北・東日本日本海側ではかなり多かった。

一方、本州の南を低気圧が通過しやすく、東・西日本太平洋側では旬間日照時間が少なかった。

旬平均気温は、北日本と沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。

旬降水量は、北日本と東日本日本海側でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。一方、東・西日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

#### 2月の気候統計

**月平均気温：**沖縄・奄美でかなり高く、北・東・西日本で高かった。

**月降水量：**東日本日本海側でかなり少なく、北日本で少なかった。一方、西日本太平洋側と沖縄・奄美では多かった。東日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

**月間日照時間：**東・西日本太平洋側で少なかった。北日本、東・西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

#### 2月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（ $^{\circ}\text{C}$ ）  
石垣島 22.2 那覇 20.0 など6地点
- ・月降水量少ない方から（mm）  
金沢 93.0

#### 2019年2月の平年差（比）図

